

フィリピン諸々

1 滞在国のセキュリティ

2 フィリピン諸々

資料 アルジェリア、フィリピンの概要

平成25年 3月20日

79期 大門 孝一

1 滞在国のセキュリティ

1.1 アルジェリア フェーズ1(1982~1983)

- ◎ 航路
成田 - パリ - オラン ... アルズー ... 車での移動
- ◎ 特に大きなセキュリティ上の懸念なし
 - 毎週金曜日はオランへの買い物ツアー
 - アルジェリア産のタバコ、ビールの品質は ???
 - ガルダイヤでの夜景
- ◎ パリでの体験
 - ジプシー被害未遂 ⇨ 自分の身は自分で守れ

1.2 アルジェリア フェーズ2(1994~1995)

- ◎ 航路
成田 - パリ - マドリード - アルメリア ... アルズー ... ボートでの移動
- ◎ 原理主義者による”テロ”の危険と日本政府への期待に対する悲観的見方
 - 三重のバリケード内での外部との接触を遮断した生活、地下壕付きの宿舎
 - 移動は常に護衛付きで防弾ガラス装備の車
 - パスポート、金、航空券は一元管理、ボートは緊急時脱出用として港内に待機
 - 三か月に一度の一週間のスペイン休暇(アンダルシア、アルハンブラ宮殿)
- ◎ 結果的にはテロリストの襲撃はなかった

1.3 フィリピン(2005~2012)

- ◎ 航路
成田 - NAIA1(約4時間)
- ◎ MILF、アブサヤフと新人民軍(NPA)、山賊
 - 特にミンダナオ西部は Kid Nap の危険大
- ◎ 日常的なセキュリティ上で懸念(強盗/窃盗/詐欺 等々)が非常に高い
 - 1986(若王子氏誘拐事件)後、マニラでは誘拐事件はあまり聞かない
 - コンビニでも拳銃携帯のガードマンを配備 ⇨ が、あまりあてにはならない
 - 拳銃は二万円程度から手に入る ⇨ ”相手は拳銃を持っている”と考えるべし
 - 毎年5~10人の邦人死亡事案(多くが金銭トラブル) ⇨ 被害者は大半貸し手
 - 睡眠薬強盗、美人局強盗の被害 ⇨ 何故か後を絶たない
 - ホールドアップの多発 ⇨ 抵抗しない、小銭の用意
- ◎ 対策
 - 移動は全て社用車で
 - 夜間単独行動の禁止(特に徒歩での)
 - 危ないところには近づかない
 - 貸した金はあきらめる

(追) イエメン(2003)

- ◎ 夜間の地元部族の襲撃
(工場と部族との間の紛争に巻き込まれる)

2 フィリピン諸々

2.1 フィリピン一般

- ◎ フィリピンの夏休みは4月、5月 ☞ とはいっても一年中同じ服装でOK
 - － 明確な四季の区別はなく、雨季(5月～11月)と乾季(11月～5月)に分けられる
- ◎ 植民地時代以前フィリピン王国というものは存在しなかった
 - － 希薄な国への帰属意識、公共意識の欠如と強固な家族の絆
- ◎ マゼラン(1521セブ島で戦死)と高山右近(1614フィリピンへ移住)

- ◎ マニラは慢性的な交通渋滞と深刻な大気汚染
 - － 何しろ人(特に若い世代)が多い
- ◎ 物価は日本の1/5程度
 - － 米 70円/kg、タバコ 80円/箱 ☞ でもタバコはバラ買いが普通
- ◎ OFW(Overseas Filipino Worker)が支えるフィリピン経済
 - － OFW人口 約900万人以上 送金額 年間約200億ドル ☞ フィリピンGDPの10%以上
- ◎ ゴルフのお勧めは11月から2月まで
 - － 平日3000円、土日6000円程度、4月、5月にプレーの際は水と塩を忘れずに
- ◎ その他の観光
 - － ボラカイ島(リゾート)、セブ島(ダイビング)、コレヒドール島(歴史) 等
- ◎ フィリピン人氣質(4F ☞ Family、Face、Faith、Festa)
 - － 地理的背景(南国気質)
 - － 歴史的背景(謝れば殺される社会/家族の絆/敬虔なクリスチャン)
 - － パキキサマとウタンナロオブ
 - － Shy と Hiya

2.2 フィリピンでの業務と従業員

- ◎ LCEC(Low Cost Engineering Center) ☞ 平均給与 25,000ペソ
 - － 数多くの日系エンジ会社が進出 ☞ 図面単価 日本外注の約1/2
- ◎ 給料日は月2回
 - － 貯金なほとんどしていない/5月には前借多発
- ◎ 2大イベント アウティングとクリスマスパーティー
 - － エンターテイナーの本領発揮
- ◎ フィリピン人従業員の優位性(従順温和な気質/英語)
 - － 船員協会アンケート(部下にしたい船員 ☞ No.1は常にフィリピン人)
- ◎ フィリピン人従業員の問題点(責任回避/高い離職率)
 - － Because で始まる報告
 - － $1 \div 3 \times 3 = ???$
 - － フィリピン人のYesは ??? (I will do my best. は”できない”場合の弁解)
 - － 年間10%を超える離職率(多くは海外へ出稼ぎに(OFW))

2.3 フィリピンにおける日本人

- ◎ マニラ在留者(在留届提出者)は2万人弱
 - － 日本/韓国/米国が上位三国
- ◎ フィリピンでの年金生活
 - － 十分可能(医療、保険の問題)
- ◎ マニラ火曜会でのボランティア活動
 - － 寄付、奉仕活動
- ◎ マニラ大使館最大事案 ☞ 困窮

- ◎ 奇異な大使館風景

3 グローバル化と日本人

(資料) アルジェリア、フィリピンの概要

<アルジェリア民主人民共和国 概要>



面積	238	万Km2
人口	35	百万人
首都	アルジェ	
大統領	ブーテフリカ(1999～)	
宗教	イスラム教	
歴史	1847	フランス植民地
	1962	独立
	1965	軍事クーデター
	1991	軍事クーデター
GDP (2011)	7,325	\$ /人

<フィリピン共和国概要>



面積	30	万Km2
人口	94	百万人
首都	マニラ	
大統領	アキノ(2010～)	
宗教	キリスト教	
歴史	1568	スペイン植民地
	1898	第一共和国
	1898	アメリカ植民地
	1943	第二共和国
	1946	独立(第三共和国)
GDP (2011)	4,080	\$ /人

ボラカイ島
MILFの拠点